

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい水稻用エムコート L 4 0 ・ S 1 0 0 H 入り複合 5 0 2
別名 ; ハイエムコート 5 0 2
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 耕種資材部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 ; 03-6271-8285
F A X 番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 ; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品の GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	金属腐食性物質	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	分類できない

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5106
改定日 : 2021 年 9 月 29 日

	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
【安全対策】	粉じんを吸入しないこと。 換気の良い場所を使用すること。
【応急措置】	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
【保管】	容器を密閉して保管すること。 可燃物から離して保管すること。
【廃棄】	内容物・容器を国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	指定配合肥料

主成分	含有量 (%)	化学式	官庁公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
硫酸アンモニウム	1 以下	(NH ₄) ₂ SO ₄	1-400	7783-20-2
リン酸二アンモニウム	20-30	(NH ₄) ₂ HPO ₄	1-379	7783-28-0
塩化カリウム	20-30	KCl	1-228	7447-40-7
尿素	50-60	CO(NH ₂) ₂	2-1732	57-13-6
樹脂組成物*	10 以下	—	—	—
シリカヒューム	1 以下	SiO ₂	—	69012-64-2

*樹脂組成物：ポリオレフィン系樹脂：ポリエチレン等

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
なし

4 応急措置

吸入した場合	分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。
眼に入った場合	1. 直ちに多量の清水で洗眼する。 2. 必要に応じ医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

適切な消火剤	多量の水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	加熱されると有害ガス（アンモニアガス等）を発生する。
特有の消火方法	本製品は不燃性であるが、加熱されると有害ガスを発生するので、保管場所を移動する。 移動が困難な時は、多量の水を注水する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	排水溝へ流さない。
封じ込め及び浄化方法及び機材	掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	発散した粉じんを吸い込まないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
接触回避	強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。

安全取扱注意事項	1.床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。 2.容器は破損につながらないよう丁寧に取り扱う。
保管	
安全な保管条件	1.開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。 2.直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。 3.可燃性物質との近接は避ける。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度	設定なし。
許容濃度	日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。 日本産業衛生学会勧告値（2020 年）第 3 種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具	長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

物理的状态	固体
色	灰白色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
pH	データなし
溶解度	
溶解性（水）	易溶
蒸気圧	データなし
密度	データなし
粒子特性	粒径範囲 1~4mm
その他のデータ	
かさ比重	約 1.0

10 安定性及び反応性

反応性	データなし。
化学的安定性	加熱するとアンモニアガス等の有害ガスを発生する。
危険有害反応可能性	データなし。

避けるべき条件	高温、多湿
混触危険物質	可燃性物質
危険有害な分解生成物	アンモニアガス、窒素酸化物等

1 1 有害性情報

急性毒性（経口）	区分に該当しない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜リン酸二アンモニウム＞ ラット LD50 値 : 6,500g/kg ＜塩化カリウム＞ ラット LD50 値 : 2,600mg/kg (IPCS 1992) ＜尿素＞ ラット LD50 値 : 14,300mg/kg (SIDS) 以上のデータに基づき区分に該当しないとした。
急性毒性（経皮）	分類できない データなし
急性毒性（吸入）	分類できない データなし
皮膚腐食性/刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜尿素＞ ヒトの試験では 7.5% で Slight irritation、30% で moderate との報告がある (48 時間)。 ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜尿素＞ ICSC では眼に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
呼吸器感作性	分類できない データなし
皮膚感作性	分類できない データなし
生殖細胞変異原性	分類できない データなし

発がん性	分類できない	データなし
生殖毒性	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない	データなし
誤えん有害性	分類できない	データなし

1 2 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 短期（急性）	分類できない	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない	データなし
残留性・分解性	データなし	
生体蓄積性	データなし	
土壌中の移動性	施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りのJAにお問い合わせ下さい。	
オゾン層への有害性	データなし	

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ることを。

この製品はHMEに該当する。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1 4 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、港則法
輸送の特定の安全 対策及び条件	1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1.5 適用法令

肥料の品質の確保 指定配合肥料
等に関する法律
消防法 該当しない

労働安全衛生法
粉じん則

粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。
粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

1.6 その他の情報

- 1) 本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の取扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。
 - ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」のGHS対応モデルSDS
 - ・当社原料メーカーから入手した原料SDS
 - ・JIS Z 7252：2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
 - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本SDSは、下記の情報を元に作成しました。

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ; 生産管理本部
住所 ; 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ; 03-5297-8904
FAX番号 ; 03-5297-8908
緊急連絡先 ; 黒崎工場
電話番号 ; 093-643-2375